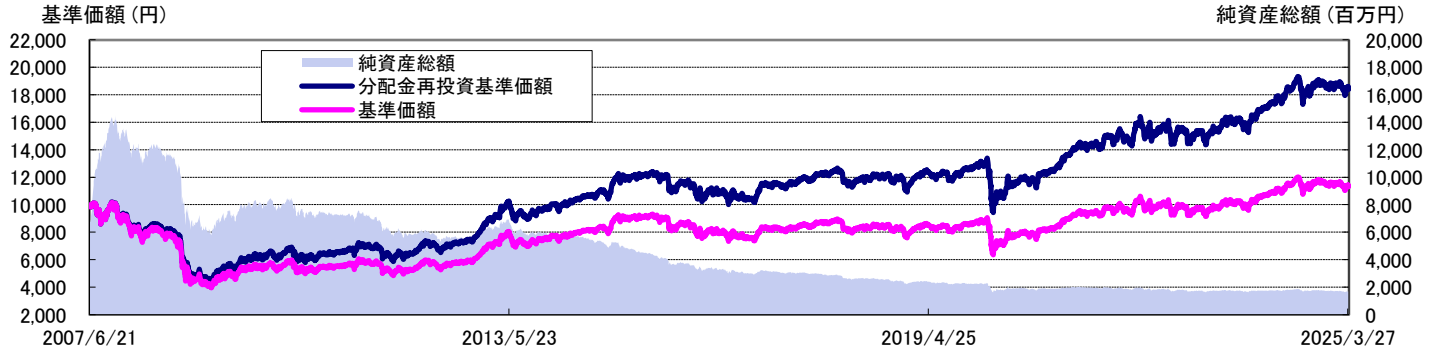
# ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）

## 愛称：ハッピーハーモニー

追加型投信／海外／資産複合
2025年3月31日基準

## 運用実績の推移




（設定日：2007年6月22日）
基準価額は1万口当たり・信託報酬控除後の価額です。なお、信託報酬率は「ファンドの費用」をご覧ください。
分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。
分配金再投資基準価額＝前日分配金再投資基準価額×（当日基準価額÷前日基準価額）（※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み）
基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

## 基準価額・純資産総額

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 11,326 円 |
| 解約価額 | 11,292 円 |
| 純資産総額 | 1,673 百万円 |
| 設定日 | 2007年6月22日 |
| 決算日 | 原則として毎月8日 |

（休業日の場合は翌営業日）

※基準価額および解約価額は1万口当たり

## 基準価額の騰落要因

| | | |
|---|---|---|
| 外国債券（DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド） | | 51 円 |
| | 内為替要因 | 56 円 |
| 外国株式（DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド） | | -16 円 |
| | 内為替要因 | 49 円 |
| 外国リート（DIAM US・リート・オープン・マザーファンド） | | -50 円 |
| | 内為替要因 | -2 円 |
| 外国リート（DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド） | | 55 円 |
| | 内為替要因 | 40 円 |
| 小計 | | 40 円 |
| 信託報酬等 | | -11 円 |
| 分配金 | | -15 円 |
| 合計 | | 14 円 |

※上記の要因分析は、組入資産の値動き等が基準価額に与えた影響をご理解いただくために「簡便法」により計算しておりますので、その正確性、完全性を保証するものではありません。

## 騰落率（税引前分配金再投資）

| 1ヵ月 (2025/02/28) | 3ヵ月 (2024/12/30) | 6ヵ月 (2024/09/30) | 1年 (2024/03/29) | 2年 (2023/03/31) | 3年 (2022/03/31) |
|---|---|---|---|---|---|
| 0.26% | -2.38% | -0.45% | 2.77% | 22.49% | 15.57% |

※1 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。
※2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
※3 各期間は、基準日から過去に遡っています。

## 分配金実績（税引前）　※直近3年分

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第178期 | (2022.04.08) | 15 円 | 第190期 | (2023.04.10) | 15 円 | 第202期 | (2024.04.08) | 15 円 |
| 第179期 | (2022.05.09) | 15 円 | 第191期 | (2023.05.08) | 15 円 | 第203期 | (2024.05.08) | 15 円 |
| 第180期 | (2022.06.08) | 15 円 | 第192期 | (2023.06.08) | 15 円 | 第204期 | (2024.06.10) | 15 円 |
| 第181期 | (2022.07.08) | 15 円 | 第193期 | (2023.07.10) | 15 円 | 第205期 | (2024.07.08) | 15 円 |
| 第182期 | (2022.08.08) | 15 円 | 第194期 | (2023.08.08) | 15 円 | 第206期 | (2024.08.08) | 15 円 |
| 第183期 | (2022.09.08) | 15 円 | 第195期 | (2023.09.08) | 15 円 | 第207期 | (2024.09.09) | 15 円 |
| 第184期 | (2022.10.11) | 15 円 | 第196期 | (2023.10.10) | 15 円 | 第208期 | (2024.10.08) | 15 円 |
| 第185期 | (2022.11.08) | 15 円 | 第197期 | (2023.11.08) | 15 円 | 第209期 | (2024.11.08) | 15 円 |
| 第186期 | (2022.12.08) | 15 円 | 第198期 | (2023.12.08) | 15 円 | 第210期 | (2024.12.09) | 15 円 |
| 第187期 | (2023.01.10) | 15 円 | 第199期 | (2024.01.09) | 15 円 | 第211期 | (2025.01.08) | 15 円 |
| 第188期 | (2023.02.08) | 15 円 | 第200期 | (2024.02.08) | 15 円 | 第212期 | (2025.02.10) | 15 円 |
| 第189期 | (2023.03.08) | 15 円 | 第201期 | (2024.03.08) | 15 円 | 第213期 | (2025.03.10) | 15 円 |
| | | | | | | 設定来累計分配金 | | 3,590 円 |

※1 分配金は1万口当たり
※2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
※3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。
分配金が支払われない場合もあります。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

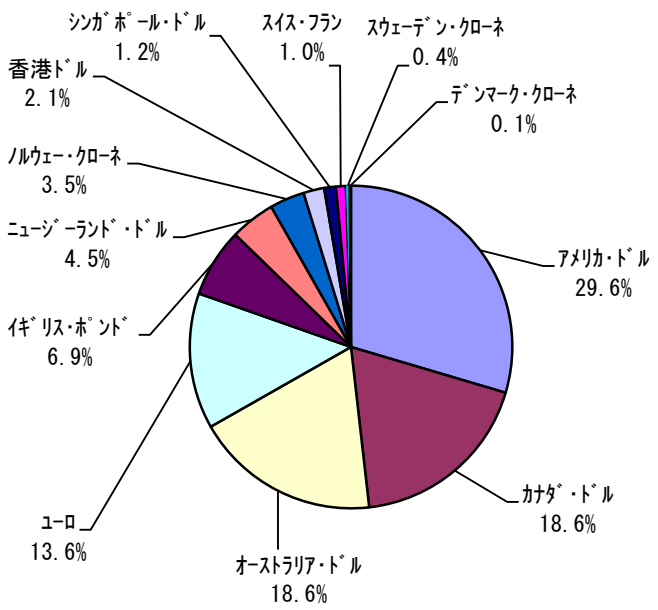
アセットマネジメントOne

# ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）

## 愛称：ハッピーハーモニー

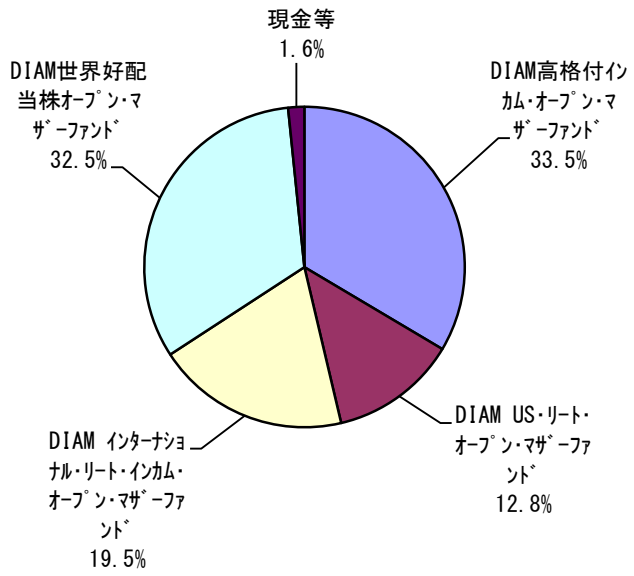
2025年3月31日基準

### 通貨別構成比




※組入比率は当ファンドが実質的に投資している有価証券評価額に対する割合です。

### マザーファンド組入比率




※組入比率は純資産総額に対する割合です。

### 当月の運用概況

当ファンドの基準価額は前月末比で概ね横ばいとなりました。
当ファンドでは4つのマザーファンドへの配分比率は原則として以下の基本配分比率とします。各マザーファンド受益証券の時価の変動等により、時価構成比が変化した場合には、定期的に基本配分に修正します。

基本配分比率は以下の通りです。
外国債券：DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド：3分の1
外国株式：DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド：3分の1
外国REIT（リート）：DIAM　US・リート・オープン・マザーファンド、
　　DIAM　インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド：合計3分の1

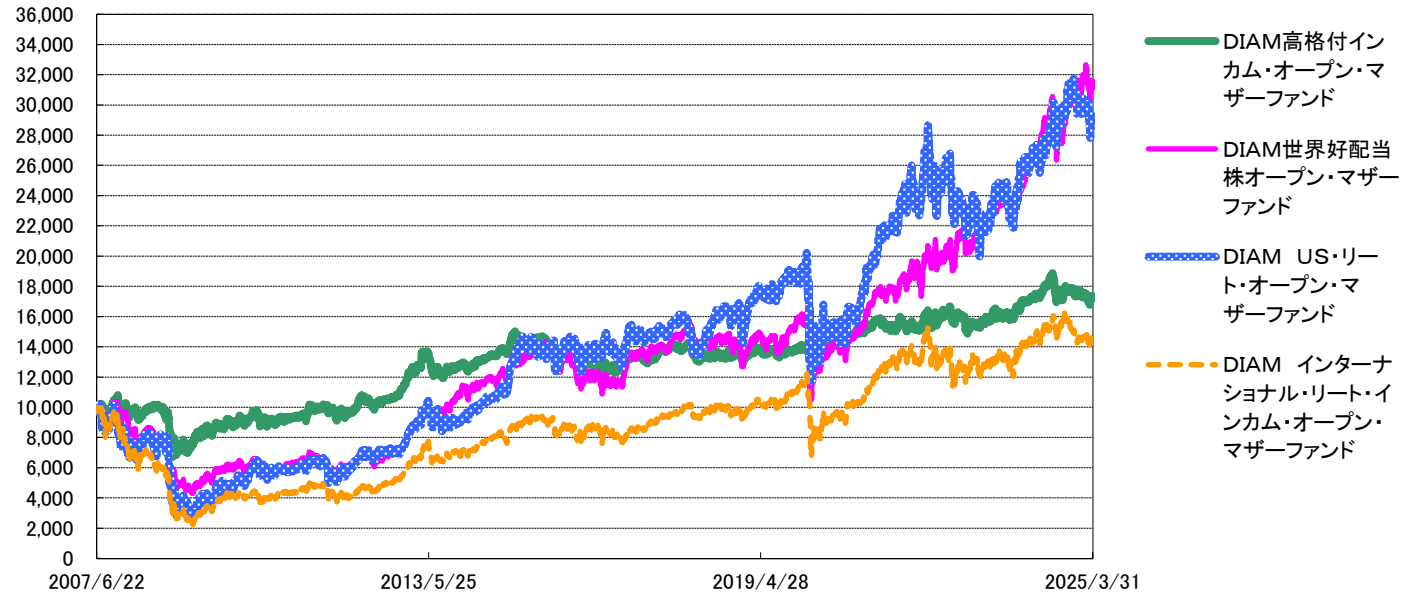
各資産の運用概況につきましては、後述の各マザーファンドの運用概況をご覧ください。

※上記の各ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。

# ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）
## 愛称：ハッピーハーモニー

2025年3月31日基準

## 各マザーファンドの基準価額の推移




※基準価額は2007年6月22日の値を10,000として指数化しています。

## 各マザーファンドの騰落率

| ファンド | 1ヵ月 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 2年 | 3年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| DIAM高格付ｲﾝｶﾑ･ｵｰﾌﾟﾝ･ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ | 1.38% | −2.65% | −1.99% | −1.35% | 10.15% | 7.21% |
| DIAM世界好配当株ｵｰﾌﾟﾝ･ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ | −0.41% | −1.57% | 8.16% | 13.45% | 46.36% | 54.96% |
| DIAM US･ﾘｰﾄ･ｵｰﾌﾟﾝ･ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ | −3.34% | −4.95% | −1.73% | 5.22% | 32.86% | 7.67% |
| DIAM ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ･ﾘｰﾄ･ｲﾝｶﾑ･ｵｰﾌﾟﾝ･ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ | 2.55% | −0.09% | −7.78% | −2.66% | 17.74% | −1.20% |

## 外国債券
## ＤＩＡＭ高格付インカム・オープン・マザーファンド　（設定日：2003年7月15日）

基 準 価 額　27,336 円
純資産総額　85,167 百万円

### ◆格付別構成比

| | 組入比率 | 銘柄数 |
|---|---|---|
| AAA | 98.37% | 61 |
| AA | 1.63% | 2 |
| 合計 | 100.00% | 63 |

※1 組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。
※2 格付については、格付機関（S&PおよびMoody's）による上位のものを採用しています。また、＋・－等の符号は省略し、S&Pの表記にあわせて表示しています。

### ◆通貨別構成比

| 通貨 | 組入比率 |
|---|---|
| カナダ・ドル | 40.23% |
| オーストラリア・ドル | 39.64% |
| ニュージーランド・ドル | 9.96% |
| ノルウェー・クローネ | 10.17% |
| 合計 | 100.00% |

※組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

### ◆ポートフォリオの状況

| | |
|---|---|
| 最終利回り | 3.60% |
| 平均クーポン | 2.73% |
| 平均残存期間（年） | 7.21 |
| 修正デュレーション | 5.58 |

※DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの純資産総額をもとに計算しています。

# ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）

## 愛称：ハッピーハーモニー

2025年3月31日基準

### 外国株式
### ＤＩＡＭ世界好配当株オープン・マザーファンド　（設定日：2005年6月1日）

基準価額　55,911 円
純資産総額　40,374 百万円

＊組入銘柄の選定に当たり、欧米地域についてはアセットマネジメントOne U.S.A.・インクの投資助言を受けるものとします。

組入銘柄数：70銘柄

◆組入上位10銘柄

| No. | 銘柄 | 国・地域 | 業種 | 組入比率(%) | 配当利回り |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | フィリップモリスインターナショナル | アメリカ | タバコ | 3.79 | 3.40% |
| 2 | ドイツ・テレコム | ドイツ | 各種電気通信サービス | 3.65 | 2.62% |
| 3 | SAP | ドイツ | ソフトウェア | 3.49 | 0.95% |
| 4 | CMEグループ | アメリカ | 資本市場 | 3.32 | 1.88% |
| 5 | シーメンス | ドイツ | コングロマリット | 3.23 | 2.45% |
| 6 | アップル | アメリカ | コンピュータ・周辺機器 | 3.18 | 0.45% |
| 7 | マイクロソフト | アメリカ | ソフトウェア | 3.04 | 0.88% |
| 8 | シスコシステムズ | アメリカ | 通信機器 | 2.88 | 2.66% |
| 9 | JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー | アメリカ | 銀行 | 2.71 | 2.28% |
| 10 | アッヴィ | アメリカ | バイオテクノロジー | 2.50 | 3.13% |

※1 組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。
※2 配当利回りは、過去1年の発表済み配当金額を基に表示しています。将来の運用成果等を保証するものではありません。
※3 外国株式には不動産投信（リート）を含む場合があります。
※4 業種はGICS（世界産業分類基準）によるものです。

### 外国REIT（リート）
### ＤＩＡＭ ＵＳ・リート・オープン・マザーファンド　（設定日：2004年4月23日）

＊運用指図に関する権限はデービス・セレクテド・アドバイザーズに委託します。

基準価額　58,559 円
純資産総額　20,567 百万円

組入銘柄数：34銘柄

◆組入上位10銘柄

| No. | 銘柄 | 国・地域 | 組入比率(%) |
|---|---|---|---|
| 1 | アメリカン・タワー | アメリカ | 6.13 |
| 2 | プロロジス | アメリカ | 5.83 |
| 3 | ベンタス | アメリカ | 5.27 |
| 4 | パブリック・ストーレッジ | アメリカ | 4.92 |
| 5 | アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ | アメリカ | 4.89 |
| 6 | レックスフォード・インダストリアル・リアルティ | アメリカ | 4.71 |
| 7 | ビ・エックス・ピ | アメリカ | 4.40 |
| 8 | カズンズプロパティーズ | アメリカ | 4.13 |
| 9 | アバロンベイ・コミュニティーズ | アメリカ | 4.04 |
| 10 | ブリックスモア・プロパティー・グループ | アメリカ | 3.86 |

※組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

### 外国REIT（リート）
### ＤＩＡＭ インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド　（設定日：2004年4月23日）

＊運用指図に関する権限はファースト・センティア・インベスターズ（オーストラリア）アイエム・エルティーディーに委託します。

基準価額　37,659 円
純資産総額　32,275 百万円

組入銘柄数：30銘柄

◆組入上位10銘柄

| No. | 銘柄 | 国・地域 | 組入比率(%) |
|---|---|---|---|
| 1 | キラム・アパートメント・リート | カナダ | 6.87 |
| 2 | バストネッド | ベルギー | 5.90 |
| 3 | グッドマン・プロパティ・トラスト | ニュージーランド | 5.67 |
| 4 | リージョンRE | オーストラリア | 5.64 |
| 5 | ナショナル・ストレージREIT | オーストラリア | 4.83 |
| 6 | クレピエール | フランス | 4.70 |
| 7 | マーリン・プロパティーズSOCIMI | スペイン | 4.44 |
| 8 | トライタックス・ビッグ・ボックスREIT | イギリス | 4.32 |
| 9 | ビシニティ・センターズ | オーストラリア | 4.30 |
| 10 | リオカン・リアル・エステート・インベストメント・トラスト | カナダ | 4.30 |

※組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

※当資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

アセットマネジメントOne

# ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）
## 愛称：ハッピーハーモニー

2025年3月31日基準

## DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの運用概況

3月の債券市場では10年国債利回りはまちまちな動きとなりました。米国国債利回りは、トランプ米政権が関税を引き上げる見通しから、企業や消費者の将来見通しが悪化し、金融市場でリスク回避的な動きが強まったことが利回りの低下要因(価格は上昇)となった一方で、小売売上高などの堅調な経済指標やドイツの財政拡大見通しによるドイツ国債利回り上昇などが利回りの上昇要因(価格は下落)となった結果、概ね横ばいとなりました。欧州ではドイツの新政権が防衛費やインフラ投資などによる財政拡大策を発表したことなどを背景にドイツ10年国債利回りが大きく上昇しました。当ファンドの投資国の10年国債利回りはいずれも上昇しました。
為替市場では、米ドルは対円で小幅に下落したものの、その他の多くの主要通貨は対円で上昇しました。当月は関税賦課により、好調な米国経済の先行きが懸念されたことで米ドルは弱含む一方、欧州ではドイツでの財政拡大などによる経済活性化が期待されたことでユーロなどの欧州通貨高が進みました。こうした中、当ファンドの投資通貨では、ノルウェークローネが対円で大きく上昇、その他の投資通貨も対円で上昇しました。

当ファンドでは基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）を概ね維持しました。
デュレーションは、前月末から長期化しました。

債券市場では、米国経済やトランプ新政権の政策が財政やインフレに与える影響が意識され、米国国債利回りが変動しやすいとみています。投資国の債券市場についても当面は米国経済や米国の通商政策などに左右される動きとなると想定しています。また、主要国や投資国の財政拡張的な政策の発表などが利回り上昇要因となる可能性もあり、注視が必要と考えています。
為替市場については、米国経済や米国の通商政策、日銀の金融政策見通しなどに左右されやすいとみています。また、当ファンドの投資対象となる高格付け資源国通貨は中国経済の動向にも影響を受けやすいとみており、米国の対中政策や中国の経済政策動向にも振らされる展開を予想しています。

## DIAM世界好配当株オープン・マザーファンドの運用概況

3月の株式市場は下落しました。前半は、米トランプ政権の関税政策への懸念などから、株価は下落しました。後半は、一時反発する局面もありましたが、月末にかけ米国への輸入自動車に対する追加関税が発表されたことや、景気後退懸念などを受け、下落しました。

業種要因では、エネルギーセクターが上昇しました。一方、情報技術や一般消費財・サービスセクターが下落しました。

個別銘柄要因では、BNPパリバ（フランス/金融）やCMEグループ（米国/金融）などの保有がプラス寄与する一方、ブロードコム（米国/情報技術）やアップル（米国/情報技術）などの保有がマイナスとなりました。

3月の基準価額は下落しました。

## DIAM US・リート・オープン・マザーファンド/DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの運用概況

米国リート市場は下落しました。上旬は、米関税発動に伴う景気悪化への警戒感から下落しました。中旬は、米関税への懸念からリスク回避の動きが強まり下落した後、米国株が反発し、リスク選好がやや改善したことや、FRB（米連邦準備理事会）が年内2回の利下げ見通しを維持したことから下落幅を縮小しました。下旬は、弱い個人消費を受けた景気悪化懸念が重しとなった一方、長期金利低下が支えとなり、小幅に上昇しました。
分野別では多くのセクターが下落しました。ホテル・リゾートや工業などが相対的に大きく下落しました。
米国のリートに投資するDIAM US・リート・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比で3.34%の下落となりました。

オーストラリアリート市場は下落しました。上旬は、米政権の関税政策の不透明感に伴うリスク回避の動きから、下落しました。中旬は、就業者数の減少から労働市場の軟化が意識され、RBA（オーストラリア準備銀行）の利下げ観測が高まったことから反発しました。下旬は、予算案で提示された減税政策に伴う家計消費の回復期待から上昇したものの、米政権の関税を巡る不透明感が重しとなり、大幅に下落しました。
欧州リート市場では大陸欧州はやや下落した一方、英国は上昇しました。大陸欧州では、防衛費増額懸念から金利が上昇したことや米国との関税に対する懸念などを受けて下落しました。英国では、EUと異なり関税を回避できる可能性があることなどが好感されました。
アジアリート市場では、香港もシンガポールも上昇しました。香港では、全人代で強気の成長目標と景気刺激策が発表されたことなどから上昇しました。シンガポールでも中国の景気刺激策や中央銀行が発表する2025年の経済見通しが前回から据え置かれたことで、景気減速不安が後退したことなどから、上昇しました。
米国以外のリートに投資するDIAMインターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比で2.55%上昇しました。

※上記のマーケット動向と各ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

アセットマネジメントOne

# ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）
## 愛称：ハッピーハーモニー

2025年3月31日基準

## ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

各マザーファンド※への投資を通じ、実質的に外国債券、外国株式、外国不動産投資信託証券（リート）の3資産へ分散投資を行い、安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

※DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド、DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド、
DIAM US・リート・オープン・マザーファンド、DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

○「外国債券」、「外国株式」、「外国REIT（リート）」の三資産に分散投資します。
○ 毎月決算を行い、原則として利子配当等収益を中心に安定的に分配を行うことをめざします。
・ 毎月8日（休業日の場合は翌営業日。）に決算を行い、原則として利子配当等収益を中心に安定的に分配を行います。
・ 毎年2月、5月、8月、11月の決算時には、原則として利子配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額から分配を行います。
※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
※ 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
※ 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

## 主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

**当ファンドは、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
**また、投資信託は預貯金と異なります。**

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

○ 資産配分リスク …… 各資産への配分は、基本資産配分比率に基づくことを基本とし、一定量以上乖離した場合には、基本資産配分比率に近づけることとします。この資産配分が収益の源泉となる場合もありますが、収益率の悪い資産への配分が大きい場合、複数または全ての資産価値が下落する場合には、当ファンドの基準価額が下がる要因となる場合があります。

○ 株価変動リスク …… 株式市場全体の価格変動あるいは個別銘柄の価格変動により、基準価額が下がる要因となる場合があります。

○ 金利リスク …… 金利リスクとは、金利変動により債券およびREIT（リート）の価格が変動するリスクをいいます。金利が上昇した場合には、債券およびREIT（リート）の価格は下落し、基準価額が下がる要因となる場合があります。

○ REIT(リート)の価格変動リスク …… REIT（リート）の価格は、REIT（リート）が投資対象とする不動産等の価値、当該不動産等による賃貸収入の増減、不動産市況の変動、景気や株式市況等の動向などによって変動します。当ファンドは、実質的にREIT（リート）に投資をしますので、これらの影響を受け、基準価額が上下します。

○ カントリーリスク …… 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等によって市場に混乱が生じた場合、もしくは取引に対する規制が変更となる場合、または新たな規制が設けられた場合等には、運用上の制約を受ける可能性があり、当ファンドの基準価額が下がる要因となる場合があります。

○ 為替リスク …… 当ファンドでは外貨建資産の為替リスクに対して為替ヘッジを行わないことを原則としているため、為替相場が円高になった場合には、当ファンドの基準価額が下がる要因となります。また外貨建資産への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因による影響を受けて損失を被る可能性もあります。

○ 信用リスク …… 当ファンドが実質的に投資する株式・債券の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、当ファンドが実質的に投資するREIT（リート）が、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、投資した資産の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。

○ 流動性リスク …… 当ファンドにおいて有価証券等を実質的に売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。
費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

# ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）
## 愛称：ハッピーハーモニー

2025年3月31日基準

## お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

| | |
|---|---|
| 購入単位 | 販売会社が定める単位（当初元本1口＝1円） |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額（基準価額は1万口当たりで表示しています。） |
| 購入代金 | 販売会社が定める期日までにお支払いください。 |
| 換金単位 | 販売会社が定める単位 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額 |
| 換金代金 | 原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 原則として営業日の午後3時30分までに販売会社が受付けたものを当日分のお申込みとします。<br>なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入・換金<br>申込不可日 | 以下のいずれかに該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。<br>・ニューヨーク証券取引所の休業日　・ニューヨークの銀行の休業日<br>・ロンドン証券取引所の休業日　・ロンドンの銀行の休業日 |
| 換金制限 | 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。 |
| 購入・換金申込受付の中止および取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。 |
| 信託期間 | 無期限（2007年6月22日設定） |
| 繰上償還 | 次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了（繰上償還）することがあります。<br>・純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。<br>・受益者のために有利であると認めるとき。<br>・やむを得ない事情が発生したとき。 |
| 決算日 | 毎月8日（休業日の場合は翌営業日） |
| 収益分配 | 年12回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。<br>※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金自動けいぞく投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取り扱われます。<br>原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。<br>公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。<br>当ファンドは、NISAの対象ではありません。<br>※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。 |

## ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。
※上場不動産投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託(リート)の費用は表示しておりません。

●投資者が直接的に負担する費用

| | |
|---|---|
| 購入時手数料 | 購入価額に、3.3%（税抜3.0%）を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。 |

●投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | |
|---|---|
| 運用管理費用<br>（信託報酬） | ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.32%（税抜1.20%） |
| その他の費用・<br>手数料 | その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。<br>・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用　等<br>※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

アセットマネジメントOne

# ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）
## 愛称：ハッピーハーモニー

2025年3月31日基準

## 投資信託ご購入の注意

投資信託は、

① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

## 当資料のお取扱いについてのご注意

○ 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。

○ お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

○ 当ファンドは、実質的に債券、株式、不動産投信（リート）等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

○ 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

○ 当資料における内容は作成時点（2025年4月9日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆委託会社およびファンドの関係法人 ◆
＜委託会社＞アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第324号
加入協会 ：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
＜受託会社＞みずほ信託銀行株式会社
＜販売会社＞販売会社一覧をご覧ください
＜投資顧問会社＞デービス・セレクテド・アドバイザーズ
ファースト・センティア・インベスターズ（オーストラリア）
アイエム・エルティーディー
アセットマネジメントOne U.S.A.・インク

◆委託会社の照会先 ◆
アセットマネジメントOne株式会社
コールセンター　0120-104-694
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ　URL https://www.am-one.co.jp/

世界産業分類基準（GICS）は、MSCI Inc.（MSCI）およびStandard & Poor's Financial Services LLC（S&P）により開発された、MSCIおよびS&Pの独占的権利およびサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社に対し、その使用が許諾されたものです。MSCI、S&P、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者のいずれも、かかる基準および分類（並びにこれらの使用から得られる結果）に関し、明示黙示を問わず、一切の表明保証をなさず、これらの当事者は、かかる基準および分類に関し、その新規性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性についての一切の保証を、ここに明示的に排除します。上記のいずれをも制限することなく、MSCI、S&P、それらの関係会社、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者は、いかなる場合においても、直接、間接、特別、懲罰的、派生的損害その他一切の損害（逸失利益を含みます。）につき、かかる損害の可能性を通知されていた場合であっても、一切の責任を負うものではありません。

# ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）
## 愛称：ハッピーハーモニー

2025年3月31日基準

**販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）**

以下は取次販売会社です。　　○印は協会への加入を意味します。　　2025年4月9日現在

| 商号 | 登録番号等 | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道信用金庫 | 登録金融機関　北海道財務局長（登金）第19号 | | | | | |
| 旭川信用金庫 | 登録金融機関　北海道財務局長（登金）第5号 | | | | | |
| 大地みらい信用金庫 | 登録金融機関　北海道財務局長（登金）第26号 | | | | | |
| 鶴岡信用金庫 | 登録金融機関　東北財務局長（登金）第41号 | | | | | |
| 盛岡信用金庫 | 登録金融機関　東北財務局長（登金）第54号 | | | | | |
| 宮城第一信用金庫 | 登録金融機関　東北財務局長（登金）第52号 | | | | | |
| 石巻信用金庫 | 登録金融機関　東北財務局長（登金）第25号 | | | | | |
| 桐生信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第234号 | | | | | |
| アイオー信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第230号 | | | | | |
| 北群馬信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第233号 | | | | | |
| しののめ信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第232号 | | | | | |
| 佐野信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第223号 | | | | | |
| 水戸信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第227号 | | | | | |
| 埼玉縣信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第202号 | ○ | | | | |
| 平塚信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第196号 | | | | | |
| さがみ信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第191号 | | | | | |
| 中南信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第195号 | | | | | |
| 巣鴨信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第161号 | ○ | | | | |
| 松本信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第257号 | | | | | |
| 諏訪信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第255号 | | | | | |
| 飯田信用金庫 | 登録金融機関　関東財務局長（登金）第252号 | | | | | |
| 福井信用金庫 | 登録金融機関　北陸財務局長（登金）第32号 | | | | | |
| 大垣西濃信用金庫 | 登録金融機関　東海財務局長（登金）第29号 | | | | | |
| 八幡信用金庫 | 登録金融機関　東海財務局長（登金）第60号 | | | | | |
| 豊川信用金庫 | 登録金融機関　東海財務局長（登金）第54号 | | | | | |
| 桑名三重信用金庫 | 登録金融機関　東海財務局長（登金）第37号 | | | | | |
| 滋賀中央信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第79号 | | | | | |
| 湖東信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第57号 | | | | | |
| 京都中央信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第53号 | ○ | | | | |
| 京都北都信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第54号 | | | | | |
| 大阪信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第45号 | | | | | |
| 大阪シティ信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第47号 | ○ | | | | |
| 大和信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第88号 | ○ | | | | |
| 奈良中央信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第72号 | | | | | |
| 神戸信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第56号 | | | | | |
| 姫路信用金庫 | 登録金融機関　近畿財務局長（登金）第80号 | ○ | | | | |
| 玉島信用金庫 | 登録金融機関　中国財務局長（登金）第30号 | | | | | |
| 広島信用金庫 | 登録金融機関　中国財務局長（登金）第44号 | ○ | | | | |
| 西中国信用金庫 | 登録金融機関　中国財務局長（登金）第29号 | | | | | |
| 愛媛信用金庫 | 登録金融機関　四国財務局長（登金）第15号 | | | | | |
| 福岡ひびき信用金庫 | 登録金融機関　福岡財務支局長（登金）第24号 | ○ | | | | |
| 遠賀信用金庫 | 登録金融機関　福岡財務支局長（登金）第21号 | | | | | |
| 伊万里信用金庫 | 登録金融機関　福岡財務支局長（登金）第18号 | | | | | |
| 熊本第一信用金庫 | 登録金融機関　九州財務局長（登金）第14号 | | | | | |
| 留萌信用金庫 | 登録金融機関　北海道財務局長（登金）第36号 | | | | | ※1 |
| しずおか焼津信用金庫 | 登録金融機関　東海財務局長（登金）第38号 | | | | | ※1 |

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。
また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。
＜備考欄について＞
※1　新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
※2　備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
※3　備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。　　（原則、金融機関コード順）

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

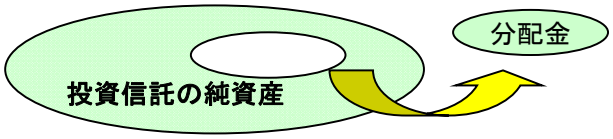
アセットマネジメントOne

# 収益分配金に関する留意事項

別紙1

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

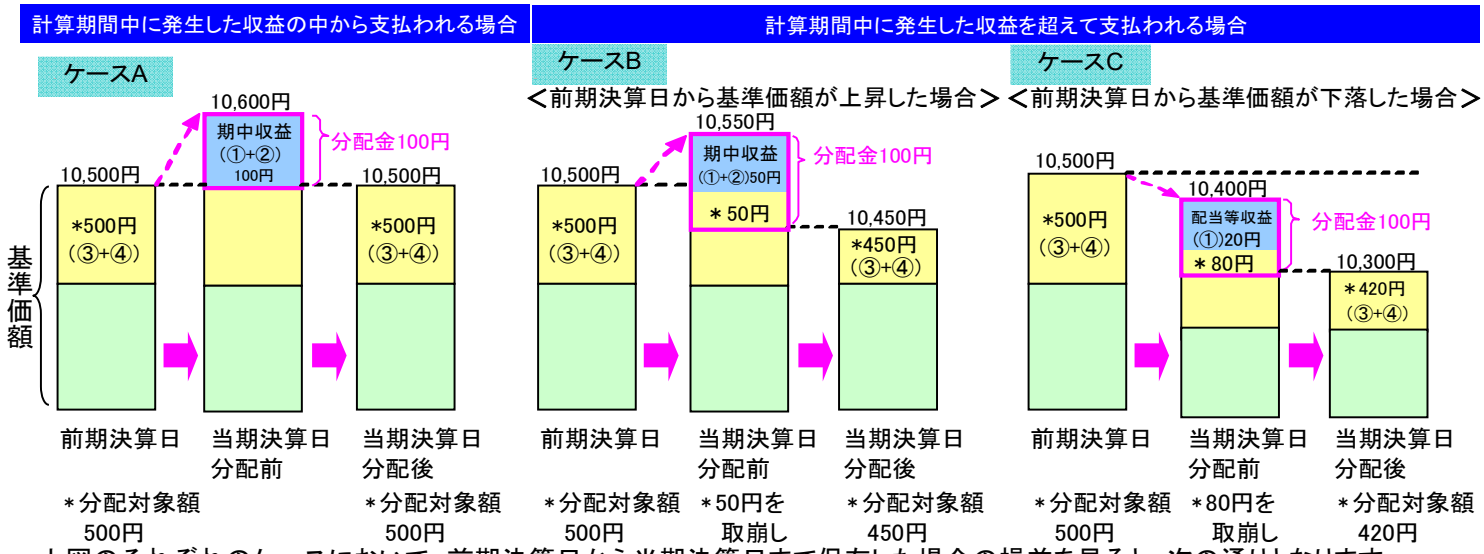



分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## 分配金額と基準価額の関係（イメージ）

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

①配当等収益（経費控除後）、②有価証券売買益・評価益（経費控除後）、③分配準備積立金、④収益調整金




上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

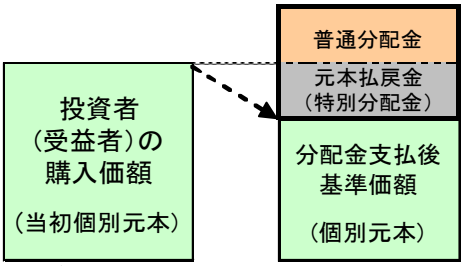
ケースA:分配金受取額100円＋当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円＝100円
ケースB:分配金受取額100円＋当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲50円＝50円
ケースC:分配金受取額100円＋当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲200円＝▲100円

★A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご留意ください。

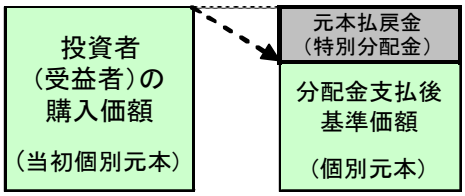
投資者（受益者）のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合




※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は、非課税扱いとなります。

### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合




**普通分配金**：個別元本（投資者（受益者）のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
**元本払戻金（特別分配金）**：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者（受益者）の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。
（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。